

観世九臈会



四月

定例会

令和3年4月11日(日)
於 矢来能楽堂

【第1部】12:30開演(12:00開場)
14:10終演予定
—客席入れ替え—

【第2部】15:00開演(14:30開場)
16:45終演予定

※新型コロナウイルス等の感染防止の観点より、当面の間、公益社団法人能楽協会の「能楽堂における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」、ならびに公益社団法人全国公立文化施設協会の「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿って公演を開催いたします。

新型コロナウイルスの感染状況や行政機関などによる指示、各種ガイドラインの変更・更新等に伴い、内容に変更がでる場合がございます。最新情報は矢来能楽堂ホームページや公式ツイッターなどでも随時お知らせいたしますので、ご来館時などには必ずご確認くださいませよう願いたします。

主催：公益社団法人 観世九臈会

感染予防にご協力をお願いいたします。

◆ ご来場の際のお願い

- ・体調不良の方は、当日でもご来場をお控え下さい。
- ・ご入場の際は必ずマスクを着用ください。
- ・入口にて手指のアルコール消毒と検温にご協力下さい。
- ・37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。(上記にご協力いただけない方には、ご入場をお断りいたします。)
- ・上記にて入場不可となった方へは、ご事情を伺った上で、払い戻しをさせていただきます。チケットを半券ともにご保管の上、ご連絡下さい。

◆ 会場内でのお願いなど

- ・喫茶室は閉室しております。会場内でのお食事はご遠慮下さい。
- ・場内のウォーターサーバーは、使用停止とさせていただきます。
- ・水分補給のためのお飲み物は、ご持参ください。
- ・ブランケットの貸出は当面いたしません。
- ・換気のため、お席によっては空調が強く当たるところがございます。ご自身にて上掛け等をご持参ください。
- ・出演者へのご面会、お差し入れは当面の間、ご遠慮ください。
- ・矢来能楽堂のお手洗いは数が大変に限られております。なるべくご来場前にお済ませ頂き、ご利用の際は間隔をあけてお並びください。

◆ 上演にあたってなど

- ・上演中も、マスクの着用をお願いいたします。
- ・舞台上も出演者の感染予防対策を講じた形式での上演とさせていただきます。
- ・公演の前後および休憩中には外気を入れ、会場内の換気をいたします。
- ・場内換気のため、上演中もロビーとの扉は開けさせていただきます。
- ・1部、2部の入替時に館内消毒作業をいたします。
- ・1部、2部とも続けてご覧になる方も、一旦退館をお願いいたします。
- ・万一、来館者ならびに出演者・スタッフに感染が疑われる者が後日、発生した際は、所轄の保健所へご来場者様情報を提出させていただきます。

このほか、矢来能楽堂ホームページにて、「矢来能楽堂における感染予防措置」をご確認の上ご来場ください。

皆様の健康と安全を第一に考えております。

皆さまにはご不便をおかけすることもございますが、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

矢来能楽堂・公益社団法人 観世九臈会

全指定席(各部)

正面席 5,500円 / 脇正面・中正面席 4,400円

学生券(脇正面・中正面) 2,200円 ※学生券は26歳未満(要学生証) 未就学児入場不可

1部2部通しセット(脇正面・中正面のみ) 7,800円

【お申込み・お問合せ】

矢来能楽堂・観世九臈会

電話：03-3268-7311

FAX：03-5261-2980

メール：yarai@eos.ocn.ne.jp

http://yarai-nohgakudo.com/



【注意事項】

- ・記載の演目・演者等はやむを得ない都合により変更になる場合がございます。
- ・許可のない録音・撮影は一切禁止です。
- ・携帯電話は電源からお切りください。
- ・演能やほかのお客様の迷惑となる行為はご遠慮願います。場合によっては退場していただく場合がございます。

表紙写真「平太」撮影：青木信二

ご注文・問合せ
 (株)能楽書林 九段下駅徒歩すぐ
 〒102-8264 東京都千代田区九段下1-10-8
 TEL 03-3264-0847
 FAX 03-3264-0847
 メール shonin@mercury.plala.or.jp

柳沢新治著
 『横からみた能・狂言』
 長年、NHKの能楽放送に携わった著者が著した、現場ならではの「放送うらばなし」をはじめ、能の歴史をひもとく「能の歴史」、心に残る人々との思い出の随想「出会いと別れ」、能をモチーフとした推理小説「能舞台の目撃者」など、バラエティに富んだ内容を一冊にまとめた好読物。
 四六判・二三頁
 本体二〇〇〇円十税

能楽書林
 『能楽手帖』
 権藤芳一著

観世九皇会 四月定例会

令和三年四月十一日(日) 於 矢来能楽堂

【第一部】 十二時三十分開演(正午開場)

番組

笠之段	小島 英明	奥川 恒成
雲林院	観世 喜之	鈴木 啓吾
仕舞		地謡
笹之段	中森 貫太	中所 宜夫
		長山 耕三

—— 休憩五分 ——

(十二時五十分頃)

能 兼平

Kanbira

シテ 駒瀬 直也	大鼓 亀井 洋佑	熊本 俊太郎
ワキ 館田 善博	小鼓 田邊 恭資	
ワキツレ 野口 能弘		
ワキツレ 小林 克都		
問 吉田 信海		

後見 長山 耕三	中森 健之介
永島 忠修	鈴木 啓吾
	遠藤 喜久
	桑田 貴志

【第二部】 午後三時開演(午後二時三十分開場)

番組

狂言 二九十八	シテ 大藏 彌太郎	アド 大藏 基誠	後見 小梶 直人
Nikujūyūhachi			

—— 休憩十分 ——

(午後三時三十分頃)

子方 佐久間 瑞稀	大鼓 柿原 光博	藤田 朝太郎
ツレ 石井 寛人	小鼓 幸 信吾	
ツレ 新井 麻衣子		
ツレ 金子 仁智翔		
ツレ 河井 美紀		
貫之 坂真 太郎		
シテ 佐久間 二郎		
能 草子洗小町	ワキ 福王 和幸	大鼓 柿原 光博
SoushiaraiKOMACHI	小鼓 幸 信吾	後見 永島 充
	問 大藏 教義	弘田 裕一

後見 永島 充	奥川 恒成
弘田 裕一	奥川 恒治
	遠藤 和久
	小島 英明

附 祝 言

(終演予定 午後二時十分)

(終演予定 午後四時四十五分)

《あらすじ》

能 兼平

かね ひら

僧が木曾義仲を弔おうと近江国の粟津へ向かう。途中琵琶湖を渡るため老翁の操る舟に同乗する。一望する名所を尋ねるうちに粟津に着くと、老翁は忽然と姿を消す。僧は地元の人から義仲の忠臣・今井四郎兼平の故事を聞き、その跡を弔う。そこに兼平の霊が現れ、先の老翁の正体は自分であると言い、義仲の最期、そして己の壮絶な自害の有様を見せる。

『平家物語』「木曾の最期」を題材にした能。前段では初夏の湖畔の景色が描かれ、後段では戦の悲哀がありありと映し出される。

狂言 二九十八

にくじゅうはち

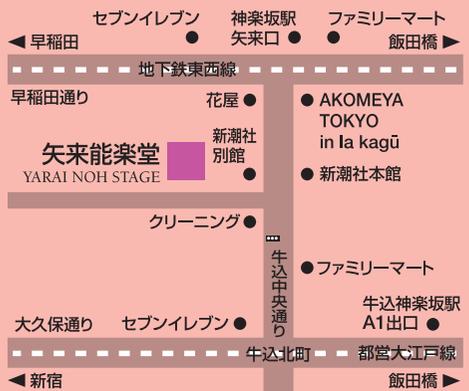
能 草子洗小町

そうし あらい こまち

男が妻を娶るため清水の観世音にやって来た。霊夢の通り西門に立つ顔を隠した女に声をかけその宿を問うと、女は「ニク」と言つて去る。男は二九十八軒目のことだと推理し、女への期待を膨らませながら宿を訪ねる。

和歌の優劣を競う「歌合」が清涼殿で催されることとなった。帝の御前には小野小町や紀貫之ら和歌の名手が集う。そんな中、小町の歌合の相手である大伴黒主は小町に敵わないと思ひ、事前に小町の歌を立ち聞き万葉集に入れ筆して、小町が古歌を盗用したように偽装した。窮地に立たされた小町は潔白を示すため、その万葉集を水にさらして洗う。

小町が若い姿で登場する、現行曲で唯一の能。平安貴族たちが華やかに舞台を彩る。



162-0805 東京都新宿区矢来町60
地下鉄東西線神楽坂駅 矢来口より徒歩2分 都営大江戸線牛込神楽坂 A1出口より徒歩5分 駐車場はございません。近隣のコイン駐車場をご利用ください。